【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成19年12月13日(2007.12.13)

【公開番号】特開2006-262452(P2006-262452A)
【公開日】平成18年9月28日(2006.9.28)
【年通号数】公開・登録公報2006-038
【出願番号】特願2006-35005(P2006-35005)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｂ　10/02　(2006.01)
Ｈ０４Ｂ　10/18　(2006.01)
Ｈ０４Ｂ　10/04　(2006.01)
Ｈ０４Ｂ　10/06　(2006.01)
Ｈ０４Ｂ　10/142　(2006.01)
Ｈ０４Ｂ　10/152　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｂ　9/00　Ｍ
Ｈ０４Ｂ　9/00　Ｌ

【手続補正書】
【提出日】平成19年10月29日(2007.10.29)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項６】
前記光受信器は、線形中継区間において線形中継器毎に波長分散値が固定の分散補償器により分散補償された信号光を受信し、伝送後のチャネル毎の残留分散を補償する手段を備えた請求項１ないし５のいずれかに記載の自動分散補償型光伝送システム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００６０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００６０】
また、光受信器３５は、図３に示すように、光伝送路における群速度分散を補償する可変波長分散補償手段２６と、光信号を分岐する光分岐手段２７と、ＤＰＳＫ符号復調用のマッハツェンダ干渉計２８と、バランス型受光器２９と、位相変調帯域をＵＳＢおよびＬＳＢに帯域分割する帯域分割手段３０と、ＵＳＢおよびＬＳＢをそれぞれ受光する受光器３１－Ｕ、３１－Ｌと、受光したベースバンド信号の任意の変調周波数成分を抽出するバンドパスフィルタ３２－Ｕ、３２－Ｌと、抽出された周波数成分の位相状態を検出する位相検出手段３３と、この位相状態より波長分散を算出する位相差演算手段３４とから構成される。